

馬淵澄夫議員に関する調査報告書

平成 23 年 8 月 22 日

PatriotsOfJapan

馬淵澄夫議員に関して、調査した結果は下記のとおりであるので報告する。

記

1 極左過激派マル青同関連組織との関係

馬淵議員は、極左過激派組織であるマル青同関連組織、「がんばろう日本！国民協議会」と関わり合いがあることが判明した。

「がんばろう日本！国民協議会」とは、殺人事件等を起こした事のある、マルクス主義青年同盟という極左過激派集団を前身とする団体である。現在は、民主党およびみんなの党の支援団体となっている。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%80%8C%E3%81%8C%E3%82%93%E3%81%B0%E3%82%8D%E3%81%86%E3%80%81%E6%97%A5%E6%9C%AC!%E3%80%8D%E5%9B%BD%E6%B0%91%E5%8D%94%E8%AD%B0%E4%BC%9A>

馬淵議員は、同団体で開催された 2004 年 4 月 22 日開催の第 37 回 東京・戸田代表を囲む会において、笠浩史議員、手塚仁雄議員とともに出席している。

<http://www.ganbarou-nippon.ne.jp/diary/diary03.html>



写真 左から 馬淵澄夫議員 (<http://www.mabuti.net/>)

笠浩史議員(<http://www.ryu-h.net/>)

手塚仁雄議員 (<http://www.t440.com/>)

また、2004年9月29日「政権交代にむけた課題とロードマップを実践的に深める 一回生議員、政権戦略を大いに語る戸田代表を囲む会 in 埼玉&関西&東京」にも、馬淵議員は長嶋昭久議員と共に出席しており、**同議員含めた民主党議員と、がんばろう日本！国民協議会の関係は深い**と思われる。



左／長嶋昭久議員 右／馬淵澄夫議員

2 口蹄疫関連に関して

2010年発生した口蹄疫に関して馬淵議員は自身の機関紙で、**宮崎県は明らかに初動対処に失敗した。県の担当部局に危機意識と口蹄疫に関する十分な知識が欠如していた**

等と**政府対応を棚に上げて、宮崎県に責任を押し付けるかのような機関紙を発行していた。**

<http://www.mabuti.net/news/0442.pdf>(機関紙)

なお政府の初動措置の遅れは、様々なところで指摘されている。

平成22年4月20日に、宮崎県において口蹄疫の発生が確認(農水省)

http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/index.html

赤松農水大臣(当時)口蹄疫発生中に外遊(外務省)

平成22年4月30日(金曜日) 成田発

メキシコシティ着

5月1日(土曜日) メキシコ政府関係閣僚との会談

遺伝子組換え検査センター視察

2日(日曜日) メキシコシティ発

ハバナ着

3日(月曜日) キューバ政府関係閣僚等との会談

4日(火曜日) キューバ政府関係閣僚等との会談

ハバナ発

ボゴタ着

5日(水曜日) コロンビア政府関係閣僚との会談

6日(木曜日) ボゴタ発

8日(土曜日) 成田着

<http://www.maff.go.jp/j/press/kokusai/kokusei/100430.html>

2000年の自民政権の口蹄疫への対応と、民主党政権の口蹄疫への対応比較 <http://anond.hatelabo.jp/20100511231152>

自民、政府対応の遅れを批判 口蹄疫の被害拡大受け (10/05/18)
http://www.youtube.com/watch?v=i_OrTeyERz0

馬淵議員が口蹄疫の政府対応を棚に上げ、宮崎県の対応が遅れていたと印象を持たせるような機関紙を発行していたとするならば、大きな問題である。

なお、参考情報ではあるが口蹄疫発生後、馬淵議員の上記機関紙がチラシとして配布されていたという情報が複数あり、参考として報告する。

参考情報元 URL

<http://irregular-expression.tumblr.com/post/636511562/or>

<http://chaosseed.glookblog.net/2010/05/28-1.m.html?guid=ON>

http://media.tumblr.com/tumblr_l3286egAF11qzk3vd.jpg

<http://d.hatena.ne.jp/oguogu/20100527/1274944560>

<http://ameblo.jp/wish-freejapan/image-10546590285-10561506184.html>

配布されたチラシと見られる画像

10.5.22.SAT
まぶち NEWS 442
週刊 民主

こうてい疫感染

宮崎県の農家で家畜伝染病の口蹄疫の感染が疑われる年が見つかったから約1か月がたちます。その間、宮崎県での感染疑い種数は27頭、致死分される豚や牛などの感染は11万羽程度を数えました。しかし、実際に致死分されたのは人員不足や埋却地不足のため前から感染しとまっていたようです。口蹄疫が国内で確認されたのは、2000年以來10年ぶりとなりませんが、当時、宮崎県と北海道で40頭の年が知られ、3か月で終息しました。しかし、今回は発生後1か月で、致死分の対象となった家畜がすでに前期の100倍を超えています。

◆初期が極めて大事
被害は、海外も含めさらに広がる可能性があります。口蹄疫ウイルスが人や畜に付着して運ばれるケースもあり、さらには風によっても運ばれます。また、感染力が強いため、感染が広がる恐れがあります。このため初期は極めて重要で、2000年の感染の際には、家畜の飼料に使われた中国産のからん感染源と認められ、その輸入の際に殺菌する措置がとられるようになったとされます。しかし、感染に口蹄疫ウイルスは日本に侵入しました。今回のウイルスがどういった経路で侵入したかは定かではありませんが、人や物に付着して侵入するルートについては事実上断るようがないのです。水際で感染に陥れることは極めて難しいと書わざるを得ません。この点からも口蹄疫の感染拡大を防ぐには早期発見、迅速対応が極めて重要と書

るでしょう。一度感染が拡大してしまえば物理的に対応が困難な状況に追い込まれます。対応できる獣医の人数には限りがあり、また、処分した家畜を埋却する場所や労力も追いつかなくなり得ます。結果としてその間もウイルスは増殖、感染を続ける事態に追い込まれてしまいます。

宮崎県は最初に疑いのある水牛の事例が農家から報告された後、全県もたつて初めて感染を確認しました。その間に感染が拡大した可能性が高く、明らかに初期対応に失敗しました。報告した農家は口蹄疫の可能性についても当該の片鱗があったからこそ報告したはずで、県の担当部に危機感と口蹄疫に関する十分な知識が欠如していたと書わざるを得ません。

今後は自治体レベルでの危機意識の共有と対応法の連携が必要不可欠です。さらには感染が拡大してしまつた場合の人的、物的手当てを具体的に定めておく必要があります。

◆政争の果にするな
「自民政権であればここまですぐに食い止められた」とは書かずとも、口蹄疫は自民政権時代にも世界各地で発生しており、十分な危機意識と適切な防疫体制はその時点でも存在していなかったのです。大切なのは批判するよりも一致協力して口蹄疫を根絶させ、防疫体制を確立させることです。口蹄疫を政争の餌にしてはなりません。(7)
www.mabuchi.net
まぶちの「まぶち」ホームページ

まぶち会のご案内
私は「湯水と温泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの年寄寄付金（個人献金）によって支えられています。主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。
まぶち会お役所事務局
0742 (40) 5531

3 高速道路無料化に関する発言の矛盾

民主党は 2009 年に行われた衆議院選挙で高速道路原則無料化等のマニフェストを提示し、衆議院選挙で政権交代を果たした。

2009 年民主党マニフェスト(PDF11 ページ目)

http://www.dpj.or.jp/special/manifesto2009/pdf/manifesto_2009.pdf

馬淵議員も、フジテレビの番組『サキヨミ』（2009 年 8 月 2 日放送分）等の報道番組のインタビューでも高速道路無料化のメリットをアピールしてきた。

<http://kakaku.com/tv/channel=8/programID=13484/episodeID=254537/>

しかしながら、馬淵議員は 2009 年 9 月 2 日、テレビ朝日系「報道ステーション」に出演した際、「(高速道路)全線一斉に無料化ではないです」と発言した。

<http://www.j-cast.com/2009/09/03048833.html>

また馬淵議員は、2010 年 1 月 5 日「厳しい財政状況を踏まえる。政策には現実的な対応が求められる」とも述べ、09 年の衆院選マニフェスト（政権公約）で民主党が「原則」と掲げた無料化が、限定的なものにとどまることを示唆している。

読売新聞 1 月 5 日(水)19 時 44 分配信

なお高速道路無料化に関連して、2011 年 5 月 18 日国土交通省の菊川滋道路局長は民主党国土交通部門会議で、**高速道路料金の休日上限 1000 円を 6 月中旬に廃止**する考えを明らかにした。また、**高速道路の無料化社会実験**も 6 月中旬に一時凍結する考えを示した。

<http://response.jp/article/2011/05/18/156542.html>

このように、民主党が選挙公約した高速道路無料化は全く実現していない。

馬淵議員の、高速道路無料化に関する発言には一貫性が無く、高速道路無料化社会実験の記者発表等に関して、**高速道路無料化が進んでいないかのような報道をしたマスメディアの論調**に関し、馬淵議員は自身のブログやツイッターで、**メディア批判**ともとれる発言及び記載をしている。

このことから**馬淵議員の政治的な発言**に関しては、**高速道路無料化の変遷**や、

マニフェストが実現しない事を指摘したマスメディアを批判するなど、**政治的発言は信用ができないと有権者が判断してもおかしくない**ものである。


なお、上記の馬淵議員のツイッター上及びブログ上でのメディア批判発言に関して、以下のとおりである。

[@mabuchi_sumio](#) 馬淵澄夫

昨夜、高速無料化社会実験の記者発表。一夜明けて、メディアの論調は「わずか」とか「少ない」とか「薄い」とか。やるって言ったら「やるな」って出るし、どっちなんだ、と一人突っ込み。

[10年2月3日 web](#) から


http://twitter.com/#!/mabuchi_sumio/status/8575273668

 [@mabuchi_sumio](#)
馬淵澄夫

昨夜、高速無料化社会実験の記者発表。一夜明けて、メディアの論調は「わずか」とか「少ない」とか「薄い」とか。やるって言ったら「やるな」って出るし、どっちなんだ、と一人突っ込み。

10年2月3日 webから

[hrsm777](#)と他9人がリツイート



Twitter社について ヘルプ ブログ ステータス 求人 利用規約 プライバシー 広告主 ビジネス メディア 開発者 著作権 © 2011 Twitter



[@mabuchi_sumio](#) 馬淵澄夫

何で前後の文脈なしに平気でカッコ書きで記事書くんだろう、マスコミは。酷いのはまともな取材なしにウソ書くし。「傲慢」でなくたって、嫌になるよフツ

ー。
[10年1月31日 Keitai Web](#) から

http://twitter.com/#!/mabuchi_sumio/statuses/8433812697

政策について、途中段階での様々な話がマスコミに踊る。

いわく、「…の方向」、「…で方針が固まった」など

など。ホント、ウソばかり。

一切、今の段階で外に出したものはないのだから。

こうして自分たちの思惑をマスコミに流して世論を作り、誘導

するのが手口なんだろう。

なんだか、小さ過ぎて…。

2009年12月5日(土) まぶちすみおの「不易塾」日記より

<http://mabuti-sumio.cocolog-nifty.com/blog/2009/12/post-2335.html>

4 個人献金に関して

2011年6月、脱税の疑いでソフト開発の「ソフトウェア興業」社長の丸山三郎容疑者や同社役員ら4人を東京地検特捜部が逮捕された。

<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1106/24/news046.html>



家宅捜索のためソフトウェア興業神田事業所へ入る東京地検特捜部の係官＝24日午前10時24分、東京都千代田区（岡嶋大城撮影）

記事によると他に逮捕されたのは、同社元役員、鈴木一夫（55）▽同社役員、原子誠一（46）▽建設会社役員、大石敏（63）の3容疑者。

丸山容疑者は平成10年以降、同社などを通じ、**野田氏を含めた与野党10人の議員側に、総額434万円の政治献金**をしていたことが判明しており、政界に幅広い人脈を持つことで知られている。特捜部は強制捜査で押収した資料などを解析し、脱税で得た資金の流れについても実態解明を進める。とある。

この中に、**2009年馬淵議員の資金管理団体「まぶち会」に、社長が20万円を個人献金していたのが発覚した。**

<http://www.zakzak.co.jp/society/politics/news/20110614/plt1106141610006-n1.htm>

「私は『渴すれど盗泉の水を飲まず』の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行なうため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行なっておりません」という、自身の機関紙の記載とは矛盾する。

なお、政治資金収支報告書などによると、社長が代表を務めるソフトウェア会社は、野田氏が代表の「民主党千葉県第4区総支部」に、平成15年に20万円、17年に30万円を寄付。さらに社長側は仙谷由人官房副長官や馬淵澄夫前国土交通相らの団体にも資金提供。提供額は判明分だけで10年以降、野田氏も含め与野党10議員側に広がり、政界に流入した資金は総額434万円に及んでいる。

<http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/110622/crm11062214060013-n1.htm>

以上